南アメリカ・オセアニア州

名前

問1　南アメリカ大陸西岸を南北に走るアンデス山脈のふもとに位置するチリの貿易構造について、その背景と特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。（2024年 奈良県公立入試 類似）

1. 赤道直下の低地であることを活かし、バナナやカカオといった熱帯産品の輸出が中心となっている。
2. 造山帯の活動による豊富な地下資源を背景に、銅鉱の輸出が総輸出額の多くを占めている。
3. 広大な平原であるパンパでの大規模な農業を背景に、小麦と牛肉の輸出が半分以上を占めている。
4. アマゾン川流域の広大な熱帯雨林を開発し、鉄鉱石と木材の輸出に特化した構造となっている。

問2　アルゼンチンの経済を支える広大な平原地帯「パンパ」において、その土地の自然環境を活かした生産活動の説明として最も適切なものはどれか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 地中海性気候による夏季の乾燥を利用し、ブドウやオリーブなどの果樹栽培と、冬の降水を利用した小麦栽培が組み合わされている。
2. 熱帯の高温多湿な環境を利用し、熱帯雨林を切り開いた土地でカカオやバナナなどの商品作物を大規模に栽培している。
3. 標高の高い高山気候を活かし、冷涼な環境に適したジャガイモやトウモロコシの原産地として伝統的な農業が維持されている。
4. 温帯の気候と平坦な地形を活かし、東部では湿潤な気候を利用した牧畜や作物の栽培、西部では乾燥に強い羊の放牧などが行われている。

問3　チリの輸出総額は、1993年の約92億ドルから2017年には約692億ドルへと大幅に増加しました。この期間の輸出相手国の変化について、1993年と2017年の状況を比較して説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 輸出総額の増加に伴い、アメリカ合衆国の占める割合が首位を維持し続け、独占状態が強まった。
2. アジア州の国々への輸出が伸び悩み、代わりに南アメリカ州内での近隣諸国との貿易が中心となった。
3. 輸出総額が激増する中で、中国、日本、韓国といったアジア諸国が主要な輸出先としての地位を確立した。
4. 経済発展に伴い国内消費が増えたため、輸出総額は増えたものの輸出相手国の顔ぶれに変化は見られなかった。

問4　ある都市の気候統計において、7月前後の気温が低くなる時期（冬）に降水量が増え、1月前後の気温が高くなる時期（夏）に降水が極端に少なくなるという特徴が見られます。このような気候が見られる都市と、その名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. チリ中部のサンティアゴ ― 地中海性気候
2. ブラジル南東部のサンパウロ ― 温暖湿潤気候
3. ブラジル北部のマナウス ― 熱帯雨林気候
4. ベネズエラ北部のカラカス ― サバナ気候

問5　イギリスからの移民を中心に国づくりが行われてきた歴史を持つオーストラリアでは、現代において多文化社会の形成が重視されています。先住民であるアボリジニに対する、現在のオーストラリア政府の姿勢や社会の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. イギリスから伝わった言語や生活習慣を完全に習得させることで、社会への同化を強く求めている。
2. 先住民の居住区を厳格に制限し、他の移民や国民との接触を避けることで伝統文化を保護している。
3. 植民地化以前から受け継がれてきた独自の文化を、国家を構成する重要な要素として尊重している。
4. 経済発展を優先するため、先住民が所有していた土地の権利をすべて認めない方針を維持している。

問6　南アメリカ大陸の地理的特徴と産業について述べた文のうち、アルパカの飼育環境やその特徴を正しく説明しているものを選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. アルゼンチンに広がるパンパと呼ばれる草原では、主にアルパカの放牧が行われている。
2. アンデス山脈の標高が高い地域では、寒さに強いアルパカなどの放牧が行われている。
3. アマゾン川流域の熱帯雨林では、毛を利用する目的でアルパカが広く飼育されている。
4. 北部の乾燥した海岸沿いでは、移動手段としてアルパカが最も一般的に利用されている。

問7　オーストラリアの農業と土地利用の特色について、背景となる自然環境や産業構造と関連付けて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 広大な乾燥・半乾燥地域が広がっているため、農地の大部分を牧場・牧草地として利用し、牛や羊の大規模な放牧を行っている。
2. 大陸全体に肥沃な土壌が広がっているため、灌漑施設に頼ることなく、国土の全域で小麦を中心とした大規模な畑作を行っている。
3. 国土の大部分が熱帯雨林に覆われているため、世界の主要国と比較して農地面積そのものが極めて狭い。
4. 全域が温暖多雨な気候であるため、農地の大部分を耕地・樹園地として利用し、アジア諸国のような集約的な稲作を行っている。

問8　南アメリカ大陸で最大の面積を持ち、世界全体の約6.3%にあたる約852万km2の国土を有する国について、その資源や産業の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 世界最大の国土面積を持ち、原油や天然ガスなどのエネルギー資源の輸出が経済の大きな柱となっている。
2. 鉄鉱石の生産量が世界全体の約3分の1を占めるなど、豊富な地下資源を背景に輸出を伸ばしている。
3. 広大な乾燥帯の土地を活用した羊毛の生産が盛んであり、鉄鉱石や石炭の産出量は多いがオセアニアに位置する。
4. 広大な国土面積を持ちながら、鉄鉱石の産出とともに近年はIT産業の発展が著しい南アジアの国である。

問9　南アメリカ大陸に位置するブラジルなどの国々において、街の中で最も一般的に見られる宗教的な景観や特徴について述べたものとして、適切なものはどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）

1. 古くから伝わる仏教の寺院が、アンデス山脈の各地に建立されている。
2. 十字架が掲げられたカトリックの教会が、歴史的な街並みの中心に多く見られる。
3. 色鮮やかな彫刻が施されたヒンドゥー教の寺院が、農業地帯のシンボルとなっている。
4. ドーム型の屋根とミナレット（塔）を持つイスラム教のモスクが、各地に点在している。

問10　資源大国であるオーストラリアの輸出品目について、輸出額の第1位と第2位を占める鉱産資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

1. 金とダイヤモンド
2. 原油と天然ガス
3. 銅鉱とボーキサイト
4. 鉄鉱石と石炭

問11　オーストラリアは、石炭や液化天然ガス（LNG）などのエネルギー資源を豊富に産出しています。ある統計において、オーストラリアのエネルギー自給率が304.3%という極めて高い数値を示している理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 国内の人口が極めて少ないため、エネルギー資源の採掘そのものを厳しく制限しているため
2. 自国で消費するエネルギー量に比べて、国外へ輸出する資源の量が圧倒的に多いため
3. 広大な国土を活かした太陽光発電や風力発電だけで、国内の全エネルギーをまかなっているため
4. 製造業がほとんど存在しないため、国内でエネルギーを消費する必要が全くないため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 造山帯の活動による豊富な地下資源を背景に、銅鉱の輸出が総輸出額の多くを占めている。	チリは環太平洋造山帯の一部であるアンデス山脈に位置しており、この造山活動によってもたらされた銅などの鉱物資源が非常に豊富です。そのため、国の経済や貿易が特定の資源（銅）の輸出に大きく依存しているという特徴があります。パンパはアルゼンチン、熱帯雨林の開発は主にブラジルの特徴です。
問2	答え 4 温帯の気候と平坦な地形を活かし、東部では湿潤な気候を利用した牧畜や作物の栽培、西部では乾燥に強い羊の放牧などが行われている。	パンパは南緯30度から40度付近に位置する温帯の平原です。降水量の多い東部は「湿潤パンパ」と呼ばれ、牛の放牧や小麦・トウモロコシの栽培が盛んです。一方、内陸寄りの西側は「乾燥パンパ」と呼ばれ、乾燥に強い羊の放牧などが行われています。このように、降水量の違いによって同じパンパ内でも土地利用の形態が分かれているのが特徴です。
問3	答え 3 輸出総額が激増する中で、中国、日本、韓国といったアジア諸国が主要な輸出先としての地位を確立した。	チリは銅などの豊富な鉱産資源を背景に輸出額を大きく伸ばしました。1993年時点では上位5か国に入るアジアの国は日本だけでしたが、2017年には中国、日本、韓国の3か国が上位に入るようになり、アジア地域がチリにとって極めて重要な市場へと変貌を遂げたことを示しています。特に中国の存在感は圧倒的であり、かつて最大だったアメリカ合衆国の割合を大きく上回っています。
問4	答え 1 チリ中部のサンティアゴ ― 地中海性気候	7月に気温が低くなるのは南半球に位置していることを示しています。気温が高い夏に乾燥し、気温が低い冬に雨が降るという降水パターンは地中海性気候の典型的な特徴です。南アメリカ大陸において、この気候は大陸西岸の中緯度地域であるチリ中部に分布しており、サンティアゴはその代表的な都市です。
問5	答え 3 植民地化以前から受け継がれてきた独自の文化を、国家を構成する重要な要素として尊重している。	オーストラリアは、かつての白人優先主義から、多様な民族の文化を認め合う「多文化主義」へと政策を大きく転換しました。その過程で、先住民であるアボリジニに対する過去の迫害や不当な扱いの歴史を反省し、彼らの伝統文化や土地に対する権利を尊重し、社会全体でその価値を認める取り組みが行われています。
問6	答え 2 アンデス山脈の標高が高い地域では、寒さに強いアルパカなどの放牧が行われている。	アルパカは標高3,000メートルから5,000メートル程度の酸素が薄く寒冷なアンデス山脈の高地に生息しています。アマゾン川流域のような低地の熱帯地域や、ラプラタ川流域の広大な平原であるパンパ（主に牛の放牧が盛ん）とは異なる、高地特有の産業景観を作り出しています。
問7	答え 1 広大な乾燥・半乾燥地域が広がっているため、農地の大部分を牧場・牧草地として利用し、牛や羊の大規模な放牧を行っている。	オーストラリアの内陸部から西側にかけては、降水量が少ない乾燥・半乾燥地域が大きな面積を占めています。このような環境下では、集約的な耕作よりも、広大な土地を移動しながら飼育する牧畜が適しています。その結果、統計上でも農地面積における牧場・牧草地の割合が非常に高くなっており、羊毛や牛肉は同国の主要な輸出項目となっています。
問8	答え 2 鉄鉱石の生産量が世界全体の約3分の1を占めるなど、豊富な地下資源を背景に輸出を伸ばしている。	ブラジルは南アメリカ大陸で最大の面積を誇る国であり、その広大な国土には豊富な鉱物資源が眠っています。特に鉄鉱石の産出量は世界シェアの34.7%に達するなど、世界有数の供給源となっています。他の選択肢にあるロシア（世界最大の面積）、インド（南アジア）、オーストラリア（オセアニア）も広大な国土や資源を持ちますが、南アメリカ大陸という位置条件と鉄鉱石の圧倒的なシェアから、ブラジルの特徴と判断できます。
問9	答え 2 十字架が掲げられたカトリックの教会が、歴史的な街並みの中心に多く見られる。	南アメリカはスペインやポルトガルによる長期間の植民地支配を受けたため、文化や言語、宗教においてそれらの国の強い影響を受けています。特に宗教面では、カトリックの信仰が社会に深く根付いており、都市の広場に面して立派なカトリック教会が建てられている光景は、この地域の典型的な景観となっています。
問10	答え 4 鉄鉱石と石炭	オーストラリアは広大な国土に豊富な鉱産資源を有しており、特に鉄鉱石と石炭の輸出額は世界でも有数の規模を誇ります。かつては羊毛などの農産物の輸出が中心でしたが、現在はこれら鉱産資源が経済を支える主要な輸出項目となっています。
問11	答え 2 自国で消費するエネルギー量に比べて、国外へ輸出する資源の量が圧倒的に多いため	オーストラリアは石炭、鉄鉱石、液化天然ガス（LNG）、ウランなどの鉱産資源が豊富に埋蔵されています。エネルギー自給率は「国内のエネルギー消費量」に対する「国内のエネルギー生産量」の割合で示されるため、自国で使う量よりもはるかに多い資源を生産し、日本などの諸外国へ輸出しているオーストラリアの数値は100%を大きく超えることになります。